

(別添4)

## 偽陽性又は偽陰性を示す食品リスト

平成17年10月11日版

### 改良検査法

#### 卵

	改良された複合抗原認識抗体を用いた日本ハム(株)製FASTKITエライザVer. IIシリーズ(以下改良日本ハム製キットという。)	改良された単一あるいは精製抗原認識抗体を用いた(株)森永生科学研究所製モリナガ FASPEK 特定原材料測定キット(以下改良森永生科学研究所製キットという。)
偽陽性	特になし	特になし
偽陰性	卵加水分解物(未確認)、卵殻カルシウム(未確認)	卵白加水分解物(未確認)、卵黄

#### 乳

	改良日本ハム製キット	改良森永生科学研究所製キット
偽陽性	山羊乳、羊乳	山羊乳、羊乳
偽陰性	乳加水分解物(未確認)、乳糖(未確認)	カゼイン加水分解物、乳清

#### 小麦

	改良日本ハム製キット	改良森永生科学研究所製キット
偽陽性	ライ麦、オーツ麦	ライ麦、大麦、エン麦、ローストアーモンド、コリアンダー、ひえ、あわ、きび、はと麦、ポピーシード
偽陰性	しょうゆ、醸造酢、小麦胚芽油、小麦加水分解物(未確認)	しょうゆ、小麦タンパク加水分解物

#### そば

	改良日本ハム製キット	改良森永生科学研究所製キット
偽陽性	特になし	蓼科植物
偽陰性	特になし	特になし

#### 落花生

	改良日本ハム製キット	改良森永生科学研究所製キット
偽陽性	昆布	マカダミアナッツ
偽陰性	落花生油	特になし

注1)改良日ハムキットでは、偽陽性を起こしやすい事例として、被験食品を測定したとき、10ppm以上を示した食品を、偽陰性を起こしやすい事例として10ppm未満を示した食品を記載した。

注2)改良森永生科学研究所製キットでは、偽陽性を起こしやすい事例として1ppm以上を示した食品を、偽陰性を起こしやすい事例として回収率5%未満を示した食品を記載した。

注3)改良日本ハム製キット及び改良森永生科学研究所製キットともにデータの裏づけはないが、偽陰性を起こす可能性があるものを(未確認)と記載した。

## 従来検査法

### 卵

	複合抗原認識抗体を用いた日本ハム（株）製FASTKITエライザシリーズ（以下日本ハム製キットという。）	単一あるいは精製抗原認識抗体を用いた（株）森永生科学研究所製特定原材料測定キット（以下森永生科学研究所製キットという。）
偽陽性	鶏肉	鶏肉（オボムコイキットのみ、オボアルブミンキットは交差反応性なし）、いくら、すじこ
偽陰性	焼成卵殻カルシウム、卵殻膜タンパク質（未確認）、卵加水分解物、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品 焼き菓子（未確認）	卵黄のみ、もしくは卵黄のみで作られた加工食品（少なくとも一部は反応）、卵白加水分解物、卵殻膜蛋白、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品、焼き菓子（未確認）

### 乳

	日本ハム製キット	森永生科学研究所製キット
偽陽性	山羊乳、羊乳、牛肉	山羊乳、羊乳、いくら、すじこ
偽陰性	乳カルシウム、乳糖、乳加水分解物、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品 焼き菓子（未確認）	乳糖、乳カルシウム、カゼイン加水分解物、乳清、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品、焼き菓子（未確認）

### 小麦

	日本ハム製キット	森永生科学研究所製キット
偽陽性	ライ麦	ライ麦、いくら、すじこ
偽陰性	しょうゆ、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品 焼き菓子（未確認）	しょうゆ、容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食品製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品、小麦タンパク加水分解物、焼き菓子（未確認）

### そば

	日本ハム製キット	森永生科学研究所製キット
偽陽性	蓼科植物	蓼科植物、いくら、すじこ、カカオ
偽陰性	容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品	容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食品製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品

### 落花生

	日本ハム製キット	森永生科学研究所製キット
偽陽性	特になし	いくら、すじこ、カカオ
偽陰性	容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食肉製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品 焼き菓子（未確認）	容器包装詰加圧加熱殺菌食品あるいは食品製品、鯨肉製品の缶詰及びレトルトパウチ製品 焼き菓子（未確認）

注4) 日本ハム製キット及び森永生科学研究所製キットともに偽陽性を起こしやすい事例として、交差反応率が0.01%以上を示した食品を、偽陰性を起こしやすい事例として、回収率5%未満を示した食品を記  
 注5) 日本ハム製キット及び森永生科学研究所製キットともにデータの裏づけはないが、偽陽性を起こす可能性があるものを（未確認）と記載した。